要請番号(JL01825A14)

募集終了







| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|----|------------|--------------|------|----|------|----------------------------|
| タイ | B131 廃棄物処理 | 20~45 歳のみ | 個別 | 新規 | 2年 | • 2025/3 • 2026/1 • 2026/2 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名(日本語)

2) 配属機関名(日本語)

内務省

ドーンゲーオ町役場

3) 任地 (チェンマイ県メーリム郡) JICA事務所の所在地 (バンコク都)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約 3.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

売店から買い取っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

タイでは、屋台などの外食文化が発達しているため、使い捨て容器や袋などの消費が非常に多い。最近は空港や学校などで分別用のごみ箱を見かけるが、多くの自治体では分別収集・処分は行われておらず、最終的に同じ埋め立て地に運ばれている。そのような中、配属先は分別収集に積極的に取り組んでいることから、他の自治体が視察に訪れている。課題はウエットごみがごみ全体の約50%と非常に多く効果的な処理方法がないことと、分別の未定着である。分別の啓発活動としてポスター等をオンライン上で公開し、ワークショップを年2回実施しているが、人的リソースも限られる中、より効果・効率的な啓発方法が必要とされている。分別、収集の方法や仕組み、水分を含むごみの活用・処理方法、啓発が表別では、新たなアイディアを取り入れて課題を解決することを期待して、本要請に至ったな

2) 予定されている活動内容(以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しな がら活動を進めます)

- 1. 地域の廃棄物に関連する環境問題を調査・分析し、廃棄物処理に関わる計画の立案や見直しを行う
- 2. 分別、収集の方法や仕組み、生ごみ等の水分を含むごみ(ウエットごみ)の処理・活用方法に関して日本の事例を紹介 し、コンポスト等の需要を調査した上で改善策を検討する 3. ごみ減量・分別促進等に関する啓発活動を企画し、実施する 4. 環境啓発活動に使用するためのポスター等、展示物や教材を作成し、普及する

3)隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

Wifi、プリンター、事務用品、等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 公衆衛生・環境課の職員約10名(男女、30~50代、内1名が環境担当で環境博士)

活動対象者:

幼児から高齢者までの地域住民(町役場管轄下の学校3校の児童・生徒、教員を含む)

5)活動使用言語

6) 生活使用言語

7) 選考指定言語

タイ語

タイ語

英語(レベル:D)又はタイ語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]: () [学歴]:(大卒) 備考:同僚とのバランス

[性別]: () 備考: [経験]: (実務経験) 5年以上 備考:経験に基づく助言・

提案が必要

[汎用経験]:

環境関連活動の経験や知識

・ゴミ・コンポスト等の啓発活動経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (12~39℃位) [電気]: (安定) [通信]: (インターネット可 [水道]: (安定) 電話可)

【特記事項】

・タイの単身用住居はキッチンや洗濯機が無いのが一般的。 ・主な活動は企画・計画等であり、学校等の現場で環境啓発活動を実施する機会は現状年2回。 配属先のホームページ はこちら

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.